

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 五條市立五條小学校

① 学習指導案

プログラム	No.11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全25時間)	五條新町ふるさと歴史ウォーク
学習のねらい	・自分たちの故郷の歴史について関心を持って、意欲的に調べることができる。 ・様々な方法で情報収集し、最後まで取り組むことができる。 ・集めた情報の中から、必要なものを選択し、より伝わりやすい方法を工夫しながらまとめることができる。
学習内容	1 自分たちが知っている故郷についての情報を交流し、故郷の歴史を調べることに興味を持つ。 2 グループで関心のあるテーマを設定し、インターネットや書籍、本校の今までの活動資料、現地調査などで情報を集め、その中から適当な情報を選択する。 (松倉重政と新町通り、天誅組、五新鉄道、、御霊信仰、水泳 等) 3 五條の歴史をより広く地域に発信する方法を考える。 4 五條南小学校へ自分たちのふるさとについて発信する。 5 5年生に報告会をする。
参考資料 準備品 実施場所等	・地域の地図 ・タブレットPC ・図書室、図書館 ・地域 ・多目的ホール

学習の流れ

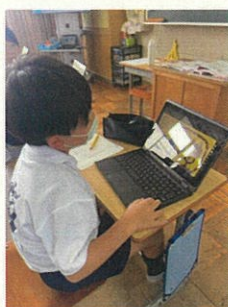
時間	学習活動	教師の指導	評価
2	・自分たちの故郷の歴史に関心を持つ。 ・歴史ウォークの計画を立てる。	・意欲的に活動に取り組めるよう、自分たちで計画させる。	・自分たちの故郷の歴史について、関心を持って意欲的に調べようとするができる。
1 1	・故郷の歴史を調べる。	・閲覧するサイトを選別してブックマークしておく。 ・事前に市立図書館にテーマに関する図書の選別を依頼しておく。 ・常に新聞作成や発表を意識した資料を集めさせる。	・インターネットや書籍、今までの本校の活動の現地調査などで情報を集め、その中から適当な情報を選択できる。
1 1	・歴史ウォークでわかったことを壁新聞にまとめる。	・朝日新聞社よりゲストティーチャーを招いて、新聞の作り方を教えていただく。	・より良く相手に伝わるように記事の書き方や、新聞のレイアウトを工夫

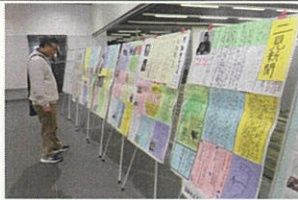
		・情報がより分かりやすく相手に伝わるように、資料のレイアウトや発表方法を考えさせる。	することができる。
1	・5年生に報告会をする。 ・できた壁新聞を地域の方に見ていただく。	・自分たちの住んでいる地域の歴史を5年生に発信する。 ・五條南小学校および奈良県立図書情報館に掲示していただく。	・自分たちが調べ、まとめた内容をより広く、より良く相手に伝えることができたかふりかえる。

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 五條市立五條小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2時間	教室	自分たちの歴史に関心を持ち、歴史ウォークの計画を立てる。		何回か新町通りは校外学習で行ったことがある 五新鉄道や井上内親王について知りたい。
11時間	地域 教室 資料館	故郷の歴史を調べる。	 	今までは知らなかった五條は歴史的がたくさんあることに気づいた。 五條の歴史はおもしろくて、好きになった。

11時間	教室	壁新聞にまとめる。	 	新聞の書き方がわかった。 専門的な用語や読みにくい固有名詞にはわかりやすいようにルビをつけよう。 文章に合った効果的な資料の使い方を工夫したい。
1時間	教室	5年生に報告会をする。 奈良県図書情報館に展示。 五條南小学校に展示。	 	たくさんの人に新聞を見ていただけてうれしかった。 五條の歴史を発信できて誇らしい。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 ・自分たちが発表するスポットを巡り実際のものを見て学習した。 ・インターネットの資料だけでは難しいので、郷土資料の「五條学」や関連図書を図書館より借りた本の活用、民俗博物館へ行くなどしながら学習を進めた。 ・壁新聞の地域への掲示では、作った壁新聞をより多くの人に見てもらえるようにした。 ・報告会では作った新聞を使って分かりやすく説明できるように指導した。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・内容の難しさや正確性・・・本やインターネットの記述からは理解するのが難しい内容があった。自分で理解できても、それをより分かりやすく伝えるためにどうすればよいか苦労していた。正しい情報や内容を伝えるために、本やインターネット、聞き取りなど多面的に調べるようにし、それを正確にまとめることに苦労していた。
(3) 児童の反応 ・五條市にお城があったことにびっくりした。住んでいても知らない歴史がたくさんあ

り、興味深かった。

- ・五條の歴史を学べて、昔の人々の営みがあって、今の五條があるということがわかった。
- ・五條の歴史を知らない人にも分かりやすいような新聞記事を作ろうと心がけた。
- ・興味のあるテーマをしっかりと調べられて、とても楽しかった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・担当教師自身が子どもと一緒に勉強する場面が多くあった。6年生で小学校のまとめとして行うこの地域学習を行うことで、他学年の地域学習をどのように進めていけばよいのか、ゴールイメージを持つことができた。
- ・事前に調べたり、地域に出て子どもと一緒に話を伺ったりする中で、教師自身も勤務する校区に愛着をもつことができた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・歴史スポットは資料が難しいものが多かった。それらを子どもにどう調べさせ理解し、伝えるまでいくかが難しかった。また、選んだテーマによっては、調べる内容が校区内だけでおさまらずに、市内や県内に広がっていくものもある中で、教師がそこまで事前に調べておいたり、実際に現地を訪れたりするには難しい所もあった。調べる範囲が広がった場合も想定した計画が必要だった。
- ・今回は児童が調べたことをアウトプットする場として、新聞作りに力を入れて取り組んだ。他校に発表形式で報告することは難しくても、中学校の新聞を本校で回覧したり、本校の新聞を他校で掲示してもらったりすることで、中部学園間で交流することができた。新聞の形にしたことで、もっとたくさんの学校で掲示してもらうようにすればよかった。
- ・ふるさと学習を充実させていくためにも、来年度も何らかの形で自分たちの調べたものを下の学年へ伝えたり、他の学校や地域と交流したりしていきたい。